

事故防止 157号
平成29年9月21日

各都道府県知事
各保健所設置市長 殿
各特別区長

公益財団法人日本医療機能評価機構
代表理事 理事長 河北 博文
(公印省略)

医療事故情報収集等事業 第50回報告書の送付について

平素より本財団の実施する事業にご理解、ご協力をいただき、感謝申し上げます。

本財団においては、医療事故防止事業部において、医療事故情報収集等事業の円滑な実施に努めているところです。

この度、医療事故情報収集等事業 第50回報告書および医療安全情報の再発・類似事例を示した別冊を取りまとめましたので送付申し上げます。ご査収くださいますようお願い申し上げます。

本報告書および別冊は、公表後、本事業のホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) にも掲載しております。

なお、公表は9月26日(火)に予定しており、それまでの間は非公表の取り扱いとなります。公表までの間、本報告書および別冊の取り扱いにはくれぐれもご注意くださいようお願い申し上げます。

今後とも本事業の一層の推進に努めてまいりますので、何卒ご理解、ご協力のほど宜しくお願い申し上げます。

医療事故情報収集等事業 第50回報告書のご案内

1. 集計報告

(1) 医療事故情報収集・分析・提供事業 (対象：2017年4月～6月に報告された事例)

表1 報告件数及び報告医療機関数

	2017年			合計
	4月	5月	6月	
報告義務対象医療機関による報告件数	281	300	309	890
報告義務対象医療機関による報告件数	53	28	25	106
報告義務対象医療機関数	276	276	276	—
参加登録申請医療機関数	761	760	764	—

(第50回報告書 13～16頁参照)

表2 事故の概要

事故の概要	2017年4月～6月	
	件数	%
薬剤	75	8.4
輸血	6	0.7
治療・処置	246	27.6
医療機器等	17	1.9
ドレーン・チューブ	55	6.2
検査	30	3.4
療養上の世話	365	41.0
その他	96	10.8
合計	890	100.0

(第50回報告書 17頁参照)

(2) ヒヤリ・ハット事例収集・分析・提供事業 (対象：2017年4月～6月に発生した事例)

1) 参加医療機関数 1,200 (事例情報報告参加医療機関数 643施設を含む)

2) 報告件数 (第50回報告書 20頁参照)

①発生件数情報報告件数：233, 283件

②事例情報報告件数：8, 298件

2. 事例の分析 (第50回報告書 23～59頁参照)

今回、「分析テーマ」で取り上げたテーマは下記の通りです。

- | | |
|-------------------------|--------------------|
| (1) 薬剤の疑義照会に関連した事例 | 【第50回報告書 24～39頁参照】 |
| (2) 胸腔ドレーンバッグの管理に関連した事例 | 【第50回報告書 40～50頁参照】 |
| (3) 検査台からの転落に関連した事例 | 【第50回報告書 51～59頁参照】 |

3. 再発・類似事例の分析 (第50回報告書 60～83頁参照)

これまでに、「共有すべき医療事故情報」や「個別のテーマの検討状況」、「医療安全情報」として取り上げた内容の中から再発・類似事例が報告されたテーマを取りまとめています。今回取り上げた再発・類似事例のテーマは下記の通りです。

- | | |
|--|--------------------|
| (1) 「MRI検査室への磁性体(金属製品など)の持ち込み」
(医療安全情報No.10、第2報No.94)について | 【第50回報告書 64～75頁参照】 |
| (2) 「スタンバイにした人工呼吸器の開始忘れ」
(医療安全情報No.37)について | 【第50回報告書 76～83頁参照】 |

*詳細につきましては、本事業ホームページ (<http://www.med-safe.jp/>) をご覧ください。